

ストリームのプライベート編集機能

説明

Perforce Helix Core 2019.1では、ストリームのプライベート編集機能が導入されました。

プライベート編集機能を使用すると、他のユーザとは分離された環境でストリームを編集することができます。通常の編集(パブリック編集)時のように、保存した変更が即時に全体環境へ反映されることはありません。

また、プライベート編集されたストリームは、チェックアウトされてチェンジリストに追加されるため、詳細なテストを行えるとともに、高度なトレーサビリティ(追跡可能性)が確保されます。

参照ページ

- ・ [「P4Vユーザーガイド」- ストリームの編集](#)
- ・ [「P4Vユーザーガイド」- ストリームの衝突解決](#)

注意事項

- ・ ver.2019.1より前のHelix Coreで作成されたストリームでは本機能は使用できません。ver.2019.1へアップデート後に作成されたストリームにのみ対応しています。
- ・ ストリームデポの再作成は不要です。

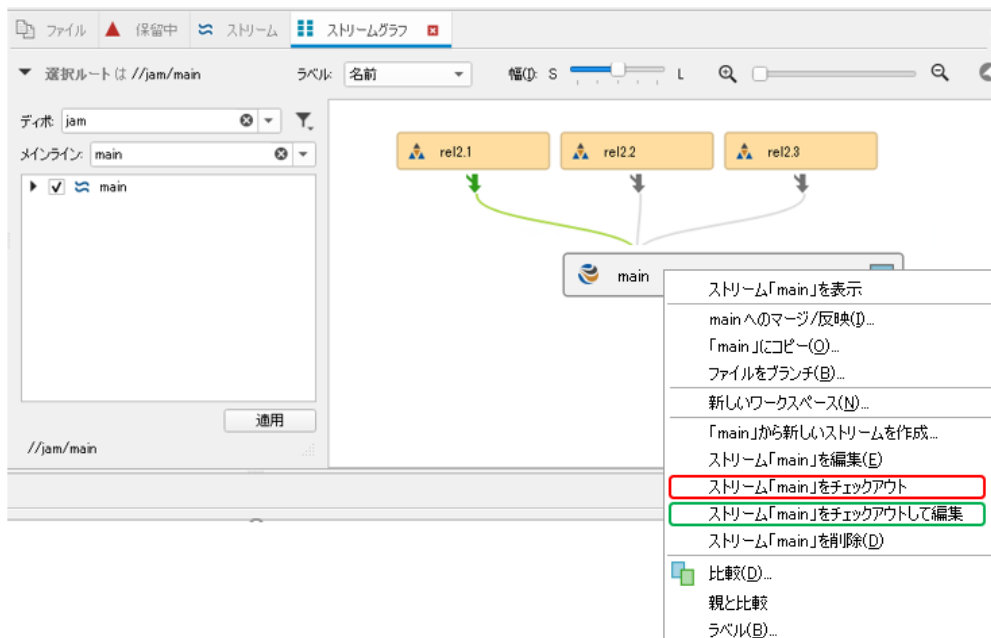
手順

1. [ストリームグラフ]タブから編集したいストリームを選択→コンテキストメニューの[ストリーム「ストリーム名」をチェックアウト]を選択します。

※すぐに編集画面を開く場合は[ストリーム「ストリーム名」をチェックアウトして編集]を選択します

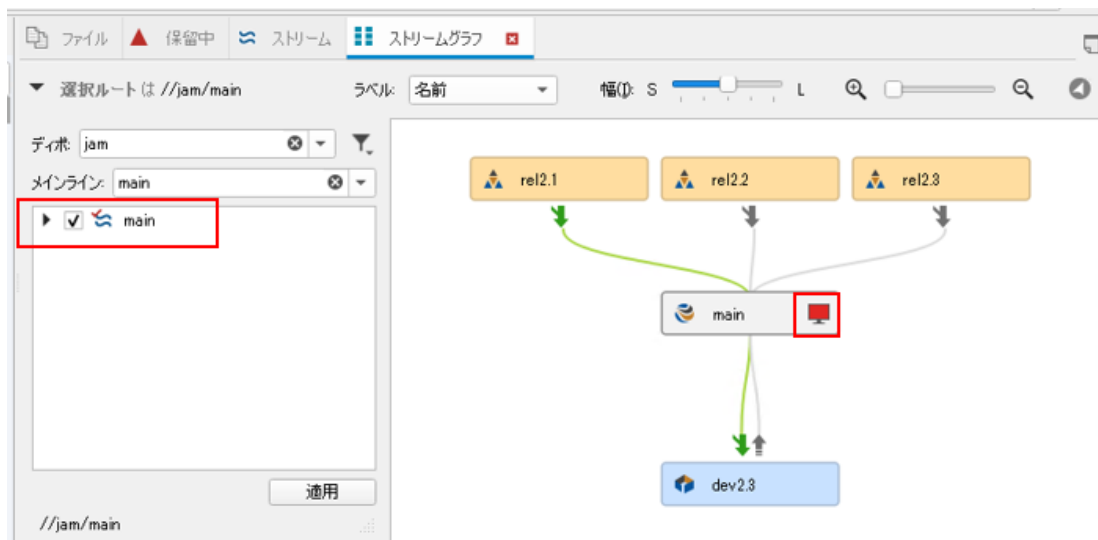
注意

チェックアウトするワークスペースに紐づいたワークスペースが指定されている必要があります。

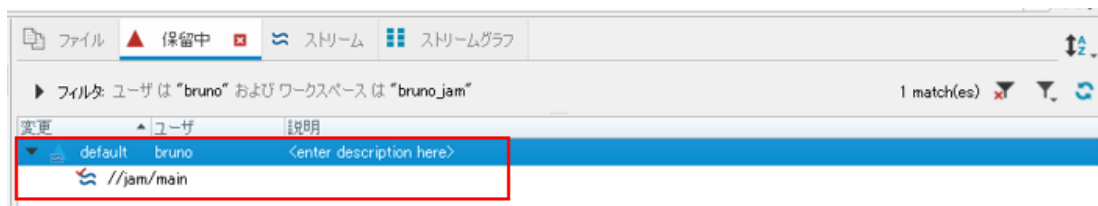


チェックアウトされるとワークスペースを示すアイコンが赤色で表示され、編集対象のストリームがデフォルトチェンジリストに追加されます。

【ストリームグラフタブ】



【チェンジリストタブ】



2. ディボ名をダブルクリックした後、[編集(E)]をクリックします。



3. [ストリーム：編集]画面が開くので、編集を行います。
編集後、[OK]または[適用(A)]をクリックして保存します。
[Diff...] → [Base vs Checked Out(Target)]をクリックすると、編集内容の確認ができます。

ストリーム編集(192.168.147.1:1666, bruno)

基本設定 詳細

ストリーム名(N):
main

ストリームタイプ(S):
メインラインストリームシステムのベースまたは基幹として機能する

変更の反映:
メインラインは開発ストリームまたはリリース ストリームで行われたほとんどの変更の受け入れ先です。

ディポ(D):
jam

場所(L):
//jam/main

(パスのレベルは「1」の深さにする必要があります。例: //depot/dir 1)

コメント(E):
Jam main codeline

OK Diff.. Cancel 適用(A) ヘルプ(H)

【Diff...からの編集内容の確認画面】

main (Have)とmain (Checked Out) - Perforce Helix Merge

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 検索(S) ヘルプ(H)

30の差分 (行末の相違を無視) | タブスペース: 4 | エンコードシステム

main (Have)	//jam/main (Checked Out)
Options: stream options: allsubmit [unlocked [notoparent [nofromparent merge	Options: [notoparent [nofromparent merge
Paths: Identify paths in the stream and how the generated in resulting clients of this s	Paths: Identify paths in the stream and how the generated in resulting clients of this s
Remapped: Remap a stream path in the resulting cli	Remapped: Remap a stream path in the resulting cli
Ignored: Ignore a stream path in the resulting cl	Ignored: Ignore a stream path in the resulting cl
Use 'p4 help stream' to see more about stream specifics	Use 'p4 help stream' to see more about stream specifics
Stream: //jam/main	Stream: //jam/main
Update: 2011/05/19 05:02:50	Update: 2011/05/19 05:02:50
Access: 2019/09/03 11:44:20	Access: 2019/09/03 11:44:20
Owner: bruno	Owner: bruno
Name: main	Name: main
Parent: none	Parent: none
Type: mainline	Type: mainline
Description: Jam main codeline	Description: Jam main codeline
Options: allsubmit unlocked notoparent notfromparent me	Options: allsubmit unlocked notoparent notfromparent me
Paths: share ...	Paths: share ...
	exclude src/....com

4. [チェンジリスト]タブからチェンジリストを選択→コンテキストメニューの[サブミット(S)]を選択します



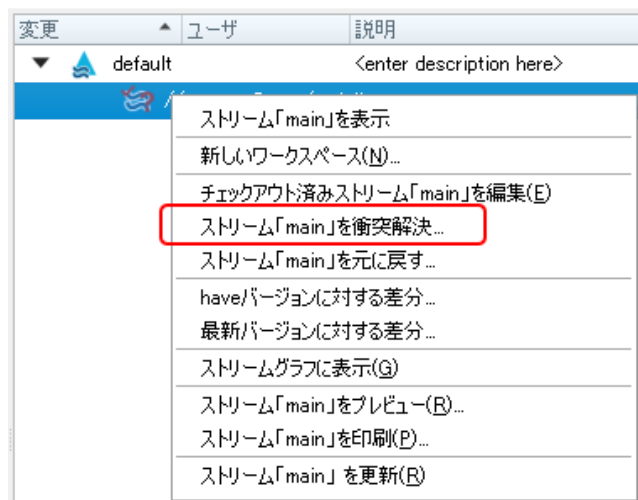
■ 同じストリームを別のユーザが編集していた場合

同じストリームを編集している別のユーザが存在した場合、ストリームへの変更がサブミットされた時点で、競合が発生している旨を示すアイコンが表示されます



競合を解消する手順

1. 競合が発生しているリストを選択→コンテキストメニューから[ストリーム 「ストリーム名」 を衝突解決...]を選択します



2. [ストリーム 「ストリーム名」 を衝突解決...]画面が表示されるので、対応方法を選択し、[衝突解決(R)]をクリックします。

?

×

streams を衝突解決: main

streams を衝突解決: main (//streamsDepot/main)

オプション: _____

☒ **インタラクティブ(I)**
チェックアウトされたストリームの編集ウィンドウが表示されます。個別のウィンドウで差分を表示することができます。必要に応じて、ストリームを手動で編集することもできます。

☐ **パブリック(反映元)(P)**
チェックアウトされたストリーム内で行われた変更がすべて無視され、パブリックストリーム内で行われたすべての変更が反映されます。

☐ **チェックアウト済み(反映先)(C)**
チェックアウトされたストリーム内で行われたすべての変更が反映され、パブリックストリーム内で行われた変更がすべて無視されます。

☐ **結合(O)**
パブリックストリームとチェックアウト済みストリームのパスフィールドが結合され、チェックアウト済みストリーム内のすべてのフィールド(パスフィールドを除く)に対する変更が反映されます。

衝突解決(R)

差分.. ▼

Cancel



オプションの説明

- ・ **インタラクティブ** : チェックアウトされたストリームの編集ウィンドウが表示され、必要に応じて編集します
- ・ **パブリック(反映元)** : パブリックで編集された変更が反映されます(=プライベートで編集した変更は無視される)
- ・ **チェックアウト済み(反映先)** : プライベートで編集した変更が反映されます(=パブリックで編集した変更は無視される)
- ・ **結合** : パブリックとプライベートのパスフィールドが結合されます